



ASHIKO TIMES NEWS 01

## 進路実現へ向けて —1・2年次進路別説明会—

1月31日(木)7限に2年次対象、2月7日(木)7限に1年次対象の進路別説明会が行われました。1・2年次とも大学、短大、専門学校、就職公務員等のコースに分かれ、それぞれ専門の講師をお招きして具体的な勉強方法について説明がありました。



2年次生には、今の2月、3月から学習を始めることが大事で、進路実現へ向けた早期の対策をとる必要性を訴えていました。1年次生には「2年次生の学習の大切さ」を訴え、年々複雑になる大学入試等に対する取り組み、日々の学習活動の大切さについての説明がありました。

ASHIKO TIMES NEWS 02

## 恒例の百人一首大会開催

1月17日(木)7限に、本校体育館にて1年次生が百人一首大会(本戦)を実施。本戦では、事前に行われたクラス予選(1月10日)での取得枚数に応じて、40班に分かれて対戦。最初は緊張しながらゆずりあう姿も見受けられましたが、次第に前のめりで声があがるなど、白熱する戦いが展開されました。年次団に加え、山田先生、ENID先生、春日先生にもお手伝いいただき、総勢14名で札を詠みました。個人成績は、1~14班の1位、15~27班の1位、28~40班の1位の3名と、最強グループ1班の中で33枚をとった1名の計4名を表彰しました。最優秀クラスはH組でした。



ASHIKO TIMES NEWS 03

## 震災追悼行事

1月17日(木)に、阪神・淡路大震災の追悼行事を行いました。朝8時に自治会執行部の生徒を中心に、生徒・教職員約50名が「阪神・淡路大震災の碑」の前に集まり、学校長と自治会会長が献花をしたのちに全員で黙とうしました。また、朝のショートホームルームでは、放送による学校長の講話のあと、震災で亡くなられた方々に哀悼の意を示し、全校生で黙とうを行いました。



芦高  
キーワード  
番外

## 芦屋高校と阪神・淡路大震災

芦屋高校には、他校にはない独特の名前を持つ取り組みがたくさんあります。このコーナーでは、「芦高キーワード」としてそれらを紹介してきました。今号ではキーワードとは少し違いますが、この言葉を取り上げます。

平成7年1月17日午前5時46分、マグニチュード7.3の直下型地震が阪神・淡路地区を襲いました。芦屋高校も大きな被害を受け、3つある校舎のうちの南館・中館が全壊しました。3名の在校生が亡くなり、多くの生徒が被災しました。

体育館は被災された住民の方1200名の避難所となり、グラウンドは災害支援にかけつけた自衛隊や支援団体などの基地となりました。当時の先輩たちは、このような不自由な中でも協力し合って、仮設校舎で学校生活を送りました。本校の正門横には慰霊の石碑が、また体育館入口には避難所に避難されていた住民の方からの感謝のプレートが設置されています。

芦屋高校では、その時の経験や教訓を活かしてこうと、地域の方々とも連携した防災訓練や、大規模災害を想定した集団下校シミュレーションなどの防災・減災対策に力を入れて取り組んでいます。



避難所  
(体育館2階)

仮設校舎  
(テニスコート)



体育館入口のプレート